

令和6年度 第2回

君津市文化財審議会会議録

日時：令和7年3月21日（金）午前10時～

場所：君津市生涯学習交流センター 101会議室

令和6年度 第2回文化財審議会会議録

- 1 日 時 令和7年3月21日（金） 午前10時開会 午前11時25分閉会
- 2 場 所 君津市生涯学習交流センター 101会議室
- 3 出席委員 御簾納照雄（会長、自然）、渡邊茂男（副会長、中近世史）、小高春雄（考古（城郭））、木曾野正勝（古文書）、高橋 克（民俗）、舘石亮行（近世史・仏教史）、宮本敬一（考古）
※欠席委員0名
- 4 出席職員 生涯学習文化課長 塚越直美、文化振興担当主幹 當眞紀子、文化財主事 朝倉 唯、久留里城址資料館副館長 平塚憲一
- 5 会議の議題 （1）令和6年度文化財関係事業について
（2）その他
- 6 公開または非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人
- 8 次 第
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 報告・協議事項
 - （1）令和6年度文化財関係事業について
 - （2）その他
 - 4 閉会

9 会議の内容（次第3 報告・協議事項より）

（御簾納会長）

それでは報告・協議事項の（1）令和6年度文化財関係事業について、事務局の説明を求めます。

（1）令和6年度文化財関係事業について

（當眞文化振興担当主幹）

生涯学習文化課の主な事業について、説明いたします。

①漁業資料館管理運営及び展示普及事業です。令和6年度は年間を通して開館及びノリつけ体験を実施できました。入館者数は2月末現在で868人、昨年度と比べると減少しておりますが、学校教育課の「きみつSDGs教育推進事業」のプログラムと連携し、ノリ養殖や昔の君津の漁業について、職員が出張解説等を行いました。また、ノリつけ体験は5回、北子安小・暁星君津幼稚園・人見こども園のほか2団体を対象に実施しました。ノリつけ体験については、これまで元漁業資料保存会の方に協力を依頼しておりましたが、高齢化により実演指導が難しくなってきたことから、今年度は実演風

景の記録映像撮影を実施しました。令和7年度以降の実演指導は、当課職員と資料館の会計年度職員で行います。

②埋蔵文化財発掘調査事業です。民間開発発掘は2件、市内遺跡発掘は3件、公共事業発掘は1件、そのうち報告書刊行まで実施のものは市内遺跡発掘3件をまとめた報告書1件と民間開発発掘で1件です。公共事業発掘については、貞元仮運動場の跡地活用に伴う調査を行いました。この場所は、令和6年5月開園のみふねの里保育園隣接地で、富吉遺跡範囲内であり、保育園建設時も発掘調査を行っております。確認調査の結果、本調査必要範囲が発生しましたので、12月議会で補正予算を組み、1月から本調査の一部を実施しました。残りの本調査範囲については、令和7年度に実施予定です。

③文化財活用事業です。出土遺物公開展は「小糸川周辺の鎌倉・室町時代ーみふねの里保育園の下に遺跡があった！ー」というテーマで、みふねの里保育園建設に伴う発掘調査成果と小糸川周辺の遺跡から出土した中世の陶磁器等を絡めて展示・紹介しました。会場は中央図書館で、8月20日から9月1日の期間で開催しております。また、展示最終日の9月1日には、中央図書館2階視聴覚室において、みふねの里保育園建設に伴う発掘調査成果の報告会を開催しました。報告は、調査担当職員が行い、参加者は73人でした。松本ピアノの補修は3月に実施しております。

④スクールミュージアム事業は、重点実施校の小櫃小・八重原小・周南小の3校を中心に、プールの水生生物観察会、学校周辺の遺跡巡り、自然観察会、勾玉づくり体験等のプログラムを計画通り実施しました。この他、希望校が2校、外箕輪小と周南中がありました。外箕輪小では学校周辺の遺跡めぐりを計画しましたが天候の都合で現地見学が叶いませんでしたので、座学で学校周辺の遺跡について説明しました。周南中では1年生を対象に、座学で学校周辺の遺跡についてお話ししました。

本事業については、市役所全体の事務事業総点検の判定により、令和6年度をもって廃止となります。次年度以降は、市の文化財専門職員による歴史系の学習支援を実施していきます。

⑤無形民俗文化財等保存事業です。今年度は、県・市指定文化財の保存会では、ほぼ祭礼奉納を実施しました。県指定文化財「鹿野山のはしご獅子舞」は、後継者不足のため近年休止が続いておりましたが、今年度は保存会の皆さんが何か動き出そうということで、祭礼日に祭り囃子を実施しております。また、保存会から、鹿野山地区に限定せず後継者を募り継承をしていきたい、という意向がございましたので、広報きみつ7月号にて募集を行いました。結果、1名の応募がありました。しかし、「はしご獅子舞」は2人一組で演じるものですので、人材確保はもちろんですが、獅子舞の舞手育成には時間を要すると思います。無形民俗文化財の後継者不足は他団体も課題であり、今年度は、鹿野山のさんちょこ節と大戸見の神楽の保存会から、今後の活動等について相談をいただいているところです。以上です。

(御簾納会長)

生涯学習文化課の主な事業について、事務局の説明が終わりました。何かご意見ありますか。

(高橋委員)

スクールミュージアム事業について、令和6年度をもって廃止ということですが、これはいわゆる「出前授業」とは違うものですか。

(當眞文化振興担当主幹)

スクールミュージアム事業は、重点実施校3校で年間計画として学習プログラムを設定、実施しておりますので、出前授業とはちがうものと考えております。

(高橋委員)

県指定「鹿野山のはしご獅子舞」や他の県指定の無形民俗文化財について、県文化財課はどう思っているのか、何か話はありますか。

(當眞文化振興担当主幹)

奉納スケジュールや活動状況の確認があります。

(高橋委員)

無形民俗文化財保存会の後継者不足は全国的な課題です。今回、市の広報誌で募集したという説明がありましたが、地区外の人を募ることは慎重にして欲しいです。無形民俗文化財は、その地域の人たちが永く守り伝えてきたものですから、どこの人でもいいから後継者になって形を残すことが、果たして真の意味での継承かという考え方もあります。まずは、例えば次男・三男とか、もともとその地域で育った人で、現在の居住地は違うけれど祭礼時には戻ってくるとか、地域の血縁、地縁関係者に声をかけてみて欲しいです。それでもダメで、だから地区外の人を募集しようという段階を踏んで欲しいです。

(當眞文化振興担当主幹)

今回の鹿野山のケースでは、地区内、関係者とも難しく、保存会の皆さんの総意として当課にお話がありました。県指定文化財ですので、募集に際して生涯学習文化課と清和公民館が協力したところでは、今後もこのような相談が増えると思いますので、気を付けたいと思います。

(木曽野委員)

無形民俗文化財の後継者不足は、鹿野山に限らずどこも深刻な課題です。市と県の指定文化財については、一度休止しても再度実施できるような動画や映像は揃っているのですか。

(當眞文化振興担当主幹)

撮影時期は異なりますが、映像はあります。古い時期の映像もありますので、今年度から順番に奉納時のビデオ撮影も実施しております。次年度以降も行っていきたいと思います。

(木曽野委員)

指定文化財以外でも困っている所がありますから、何かあれば助言をお願いします。

(渡邊委員)

無形民俗文化財について、実際に指定解除の事例はあるのですか。

(當眞文化振興担当主幹)

千葉県内でも解除になった事例はあります。

(高橋委員)

全国でも事例はあります。解除の場合、保存会から活動継続ができないという申し出を受けて、がほとんどです。保存会が継承に向けて根を上げない限りは解除にはならないですね。

(小高委員)

無形民俗文化財の後継者不足は全国的な課題で、千葉県内でも深刻な地域があります。地区外の人に募集をしても、人材の取り合いでしょうから、思ったとおりにはいかないかもしれないですね。

あと、スクールミュージアム事業について、今後の学校との関係づくりでは、先生が主体的に動けるような流れができるといいと思います。教育委員会から学校にどういう教材を求めているかを調べ、土器セットをつくるとか、セットの使い方も示すとかすると学校の先生が使いやすいと思います。

(高橋委員)

他市ですが、無形民俗文化財の演者を市が認定し認定証を渡すとか、表彰するという事例があります。新しく保存会に入ってきた人にプライドを持って取り組んでもらうためと聞いています。あと、発表の場をつくることもいいと思います。地域の祭礼だけでなく、時には大きなホールで披露すると多くの人の関心にも繋がるでしょう。単独の市だけで毎年の開催では、出演する保存会の負担も大きいかもしれませんから、君津郡市位の範囲で一緒にとか、やれる事はやってみて下さい。

(宮本委員)

無形民俗文化財関係ですが、人見神社の「神馬」の馬はどうしているのですか。まだ神事もやっているのですか。

(當眞文化振興担当主幹)

「神馬」の馬は牧場から借りています。人見神社「神馬」では、神社前の石段の駆け上がりと、山頂にある神社本殿内への躍り込みの神事を行います。その後は、車も使いながらですが、地区内を回ります。一般的に、馬にとって石段を上る動きは難しく、慣れた馬でないとできないと聞いております。ここ何年間は同じ馬が祭礼にきておりますが、年齢も高くなってきており、いつまでできるかという話もできています。

(宮本委員)

昔は各家で馬を飼っていて、神事も実施していたのでしょうか。時代も変わっていますから、人間も馬も後継者問題が課題ですね。

(御簾納会長)

他にございますか。

ないようですので、久留里城址資料館の主な事業について、事務局の説明を求めます。

(平塚副館長)

久留里城址資料館の令和6年度の主な事業を報告させていただきます。

まず年間の開館状況ですが、8月に台風接近にともなう臨時休館が1日ありましたが、最終的に年間300日の開館をすることができそうです。

①常設展示事業ですが、入館者数は、2月末現在で13,754人です。

②企画展示事業については、企画展「没後450年記念 関東無双ノ大将 里見義堯～久留里城を拠点とした戦国の雄～」を、10月26日から12月8日まで開催しました。前期・後期に分け、一部展示資料を入れ替えました。今回は、久留里城主里見義堯に関する貴重な古文書類を紹介し、その足跡、人物像に迫るとともに、君津市域に残る里見氏関連の寺院や史跡等を紹介しました。会期中の

入館者数は3,458人、開館日数は37日で、1日平均は93人でした。企画展オープンの前日には、資料出品者や市関係者等を招いた内覧会を実施しました。また会期中に関連事業として、11月に「里見義堯の実像に迫る」と題して、専門の講師陣による記念シンポジウムを開催しました。会場は、上総地域交流センターで、募集定員150人に対し133人の参加があり盛況でした。12月に実施した記念バスツアーでは、館山市、南房総市、君津市の里見氏ゆかりの場所を巡りました。募集定員20人に対し参加者は20人でした。同じく12月に記念講演会と「城を歩こう」をセットで開催しました。「義堯・時茂時代の城とは」と題した講演の後、実際に久留里城周辺の遺構などを見学しました。募集定員30人に対し参加者21人でした。展示解説会は会期中3回実施し、各回定員20人、3回の総参加者は51人でした。ほかに11月3日に、特別ご開帳として、里見氏ゆかりの正源寺において、加勢観世音菩薩を御開帳いただきました。参拝者は64人。関係の皆様大変ご協力をいただきました。講座によって募集定員が20から30人と少ない感じはありますが、これは見学時に対応可能な人数を設定している関係です。企画展のほかに、ミニ展示として、「二五穴」、「幕末の動乱と久留里－高澤家所蔵 書状・官軍兵食賄向の御触につきー」、「大鷲の雅楽」、「芋窪原遺跡」等のいろいろな分野のテーマを取り上げ、展示を行いました。

③教育普及事業ですが、資料館講座として「古文書講座・入門編」、「わがふるさとの歴史～資料館で体験！聞いて・見て・触って～」、「君津の社寺建築探訪」を実施しました。「古文書講座・入門編」は2回開催し、会場は上総地域交流センター及び生涯学習交流センターとしました。講師は資料館の学芸員が務め、募集定員各回15人のところ、参加者は2回で27人でした。「わがふるさとの歴史～資料館で体験！聞いて・見て・触って～」は、8月の夏休み期間中に親子対象の事業として実施しました。募集定員は親子12組に対し参加者41人です。2月の「君津の社寺建築探訪」では、バスで笹の山神社をはじめ、亀山神社、神野寺を見学しました。募集定員20人に対し参加者は21人でした。小学校の見学受け入れについては、2月末現在で市内小学校7校、対象学年は3年生を受け入れ、このほかに、「昔のくらし」の出前授業が2校あり、学習支援に努めました。

以上で、久留里城址資料館の事業の報告を終わります。

（御簾納会長）

事務局の説明が終わりました。何かご意見ありますか。

（高橋委員）

久留里線の一部区間の廃止ですが、運行停止はいつ頃ですか。

（平塚副館長）

まだ具体的なことはわかりません。

（高橋委員）

全国各地で廃線となった鉄道の跡を観光資源として活用している例がありますが、久留里線でも何か具体的に検討を始めているのかと思い質問しました。トンネルや鉄橋、駅舎等を市が払い下げ、登録文化財にして活用している例もありますので、今後の参考にしてください。

（平塚副館長）

JR等と情報交換し、久留里にある博物館としてできることがあれば、取り組んでいきたいと思えます。久留里線の関連ですが、3月4日から5月6日まで、「駅」をテーマにしたミニ展示を開催して

います。ぜひご来館ください。

（宮本委員）

令和6年度の企画展はかなり力を入れた内容だと思いましたが、入館者数は増えましたか。

（平塚副館長）

企画展開催時期の入館者数は多いのですが、年間を通じた入館者数については、令和元年台風以前の状況と比べると微減しています。

（木曾野委員）

久留里城址資料館の登城道の坂道がきついですね。私も高齢者になって、坂道を上がるのはおっくうに感じるが増えました。自分が資料館に行った時にも来館者が少なくなったと感ずることがあります。立地上仕方がないのでしょうが、今後高齢化が進むとますます減るかもしれないですね。

（宮本委員）

来館者の年齢層はどうですか。若い方も来館していますか。

（平塚副館長）

やはり年齢の高い方の来館が多い傾向はありますが、企画展では若い世代の来館者も多かったように感じました。

（御簾納会長）

他にございますか。

ないようですので、（2）その他について、事務局の説明を求めます。

（2）その他

（眞文化振興担当主幹）

市内滝原にある亀山神社の社殿と山門が、2月26日に千葉県登録文化財に登録されました。千葉県登録文化財は令和4年度から始まった制度で、本市では初めての登録となりました。以上、報告いたします。

（御簾納会長）

他にございますか。

質疑もないようですので、これで終わります。

長時間にわたり、ご協議いただきありがとうございます。

事務局へ進行をお返しします。

10 閉 会

（塚越課長）

以上をもちまして、第2回文化財審議会を閉会いたします。長時間にわたりお疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、事実と相違ないことを証します。

令和7年3月31日

君津市文化財審議会
会 長 御簾納 照雄